

富丘西公園の

スズランを守るっっ

札幌市のシンボルフラワーであるスズラン。実は、市内で自生のスズランが見られるのは、手稲区にある富丘西公園だけということをご存じですか？今回は、その貴重なスズランを守る取り組みをご紹介します。



【お問い合わせ先】
維持管理課公園緑化係
☎ 681-4011

スズランを守ろう！

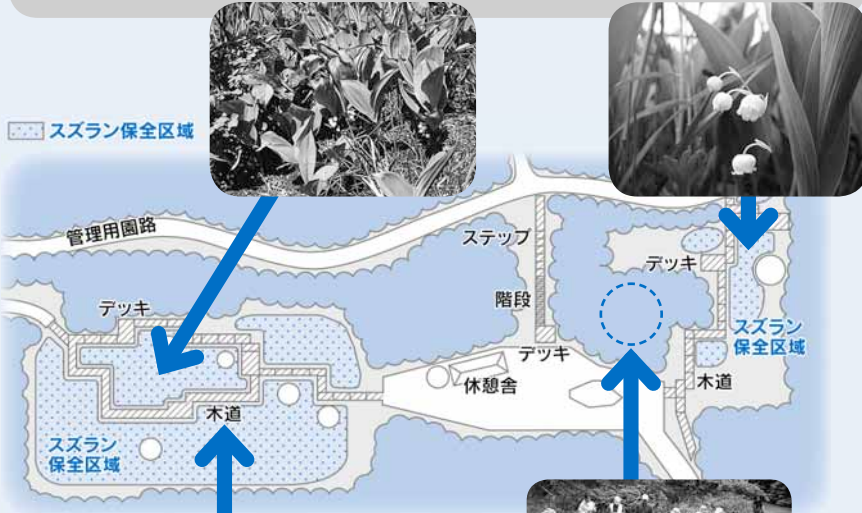
町内会、北大、手稲区が協力

富丘西公園の付近は、昔、スズランの名所として知られ、開花時期にはスズラン狩りなどで地域住民に親しまれていました。しかし、近隣の住宅化とともに樹林地が減り、スズランの群生地は平成10年に造成したこの公園だけになってしまいました。そして、平成15年ごろには公園のスズランも減少が目立ち始めました。

そこで、平成16年から、町内会、北海道大学農学研究院、手稲区が協力して、スズランを守る取り組みを始めました。

スズラン保全区域

平成10年に公園が造られた際に、スズランの保全区域が設定されました。スズランを守るために、バランスの取れた環境を維持しています。



木道が設置されています

スズランを踏まないように設置されています。昨年、改修工事が完了し、新しくなりました。



苗の移植をしています

北海道大学農学研究院の協力で、スズランが消滅した区域に、種から育てた苗を植えています。

富丘西公園のスズラン



日本スズラン



ドイツスズラン

富丘西公園のスズランは日本スズランとも呼ばれる在来種。ドイツスズランに比べると、花の香りが淡く、葉の陰にひっそりと花を咲かせます。開花時期の5月下旬から6月上旬には、清らかな美しい姿を楽しむことができます。

富丘西公園



場所 富丘4条5丁目
～5条5丁目

